

教えてネ 地域のお話

民謡だ〜い好き！
楽しみながら
伝統芸能を練習

毎 週火曜日、セリオンプラザの1室から、節回しが上手な子どもたちの歌声が聞こえてきます。和気あいあいの雰囲気の中、民謡の練習に取り組んでいるのは、「土崎キッズ民謡クラブ」のみんな。取材にうかがったこの日は、来月に迫った「秋田港の唄全国大会」に向け、練習に余念がない様子でした。



クラブの定例発表会は11月の予定です



民謡楽しいヨ〜♪

同クラブ代表の藤原美幸さんは「幼児には遊びも取り入れて、楽しみながら民謡に親しんでもらっています。全国大会に出場する子は、向上心を持って取り組んで頼もしい限り」と話します。秋田港の唄全国大会は、4月3日(日)午前10時から、セリオンプラザ体育館(入場料あり)で開催されます。生徒の穴山空夢くんは、「たくさん練習しました。うまく歌う自信があります。緊張するけど、家族やお客さんに良いところを見せられるようにがんばるぞ!」と、出場者を代表して力強く話してくれました。



国民文化祭あきた「子ども邦舞・邦楽フェスティバル」で踊りを披露

下新城小の文化活動が表彰されました

芸 術文化活動家の育成・奨励を進めるため、「秋田市の文化を育てる市民の会」が顕彰している「けやき賞」が、今年度は下新城小学校に贈られました。

下新城小学校は、平成16年の建都40年を祝して振り付けされた「新秋田音頭」を10年以上に渡り、学校の授業に取り入れてきました。また、平成23年〜26年には、文化会館での「秋田子ども邦舞・邦楽公演」に出演したほか、「国民文化祭あきた」にも全校児童140人で参加するなど、堂々と新秋田音頭を披露しました。学校教育を通じ、地域のかたと一緒に、伝統文化の継承に取り組んでいることなどが評価されたものです。おめでとうございました。

金足西幼稚園 地域とともに歩んだ50年



2月27日の50周年記念式典で

金 足西幼稚園が、この2月に創園50周年を迎えました。2月27日に行われた記念式典では、在園生が歌や踊りを披露し、みんなで大きな節目をお祝いしました。

現在、0歳から5歳までの30人が通園しています。子どもは地域の宝。学んで、遊んで、元気な笑顔これからも!



こちらは普段の様子



いっただきま〜す!

広報クイズ No.283



広報クイズは、毎月第3金曜日発行号に掲載しています。正解したかたの中から抽選で10人に図書カード1,000円分を差し上げます。

広報あきたや市政テレビ番組の感想などを添えて、ご応募ください。

Q1 「大森山動物園~あきぎん●●の森~」。●に入る字は？

Q2 「秋田城跡歴史資料館」のオープンは4月何日？

* 答えは広報あきた3月4日号・18日号の記事中から探してね♪

応募方法

はがき、FAX、Eメールに、「広報クイズ」と明記し、答えと住所、氏名(ふりがな)、年齢、電話番号を書いて、3月25日(金)(必着)まで、〒010-8560 秋田市役所広報広聴課 FAX(866)2287

Eメール ro-plpb@city.akita.akita.jp

* 採用された際、氏名の掲載を希望しないかたは、ペンネームも忘れずにお書き添えください。

2月19日号の当選者(敬称略)

前回のクイズの答え

Q1=15日まで Q2=青森市

当選者▶愛妻弁当(川尻)、石井利右工門(雄和)、いちご(保戸野)、伊藤 学(土崎港)、佐藤賢一(外旭川)、じゃがバター(寺内)、チョコリン(寺内)、ともっし(御野場)、広面T・T(広面)、ピリーガスパー(山王)

* 応募総数250件の内、正解は247件。



担当から

現庁舎と一緒「シリーズ丸3年の自身の机で

新たに市民サービスセンター機能が加わり、みなさんが心待ちにしている新庁舎。私も息子を連れて、子育て交流ひろばに行くのが、今から楽しみです。たくさんのかたに親しまれ、そしてつどい、交流する場になることを願っています(山田)

● 新庁舎をいろいろな角度から見ているが、存在感がありませんね。先日、私としては最初で最後になると思いますが、現庁舎地下の食堂でランチをいただきました。おいしかったです(えもん 33歳・寺内)

● 寒い日は愛猫と布団でぬくぬくするのが幸せなひとときですが、もうすぐ春ですね…。少し寂しいような…(千切りのやっちゃん 53歳・飯島)

ちょっと一息 読者の伝言板



● 近所に生ごみを減らすために努力しているかたがいます。野菜、果物の皮、茶がらなど、常にザルに干しています。残飯は出さないようにしたり、見習うことがたくさんあります。生ごみは水切りが大事です。生ごみは水切りが大事です(けい子 63歳・土崎港)

● 小学校の体育館で、スポーツの小学生の剣道指導に明け暮れております。冬期には、しびれるような冷たい床を踏みしめながらの稽古に励む姿にたくましさを感じ、将来の日本を担う人に育って欲しいと、その願いを込めていつも足を運んでいます(臼木武二さん 80歳・御所野)

● 今年、桜地区Jミセンが開設されるようです。生涯学習活動の場として利用を楽しみにしています(真田丸 77歳・桜)

● 車の運転をやめようかなと考へたり、まだ早いかかと悩んだり…。運転免許を返した人は何がきっかけだったのか。大事に至る前に決断の日を模索中です(S・トマト 58歳・御所野)

● 日いちにちと春に向かっていますね。ウオーキングコースに春一番に咲く福寿草を楽しみにしています(猿田リツさん 73歳・山王)



現庁舎に歴史あり 2016-1964



庁舎が完成した昭和39年の様子。左は記念式典。右はその頃の空撮。手前が県庁